



風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.22

令和3年3月9日



6年生からのメッセージ

3月4日、児童会行事「6年生を送る会」は、3人の6年生が一人ずつ紹介され、パフォーマンス付きの入場で始まりました。

「〇〇さん、休み時間に、1から6年生までと優しく遊んでくれました。」

「〇〇さん、勉強が分からないときに、分かりやすく教えてくれました。」

「〇〇さん、いつもみんなを楽しく笑わせてくれました。」

次は、壁に貼られた過去の写真やエピソードを巡る「思い出すごろく」。6年生を交えた4人1チームで、サイコロの目に合わせて体育館を1周し、懐かしい思い出を振り返っていました。

1から5年生の出し物や全校での長縄跳びに続いて、6年生が書道パフォーマンスを行いました。

「いつもありがとう ふるさと木浦のみんなへ」

大きな紙の真ん中に記した言葉は、上下の各学級の目標と全校児童の名前に囲まれ、いつも一緒だった12人の絆が感じられる構成になっています。さらに「ふるさと木浦」の文字から、感謝とともに「これからも心と心でつながっているよ」というメッセージが込められているような気がしました。

みんな仲良しの木浦らしさが表れた心温まる会でした。



南能生小とバスケットで交流

3月1日、4から6年生は、南能生小学校を訪れ、バスケットボールで交流しました。両校とも日頃、限られた人数で体育をしていて、団体競技が思うようにできないため、今回の交流が実現しました。

5・6年生は、9月に妙高宿泊体験で1泊2日を共にしており、久々の再会でした。

一回り大きい体育館で、大勢でボールを追い掛けていたので、真剣な表情の中にも笑顔が絶えませんでした。これからも他校との交流を増やし、人間関係を広めていきたいと思います。



第3回風の子学校運営協議会

2月25日、学校経営に意見をいただいたり、学校教育と地域とを結ぶために助言をいただいたりする「風の子学校運営協議会」を開催しました。

前回の会議では、子供たちの挨拶向上と地域との交流を促進するために話し合い、第2・4火曜日の「このうら挨拶の日^{*}」の実践が始まりました。

^{*}朝、子供たちが黄色い旗を持って登校します。お家の前などで「おはよう」とお声掛けください。

その結果、1学期末の学校評価で「C」だった判定が、2学期末には「B」に向上しました。左下の写真は、あいさつの日に地域の方へ自作の絵手紙を手渡し、喜んでいただいた時の様子です。

このように、地域との協働で子供たちの力を伸ばすとともに、学校が地域に貢献することができるように学校経営を改善していきます。子供のため、地域のために、これからも皆様の御協力をいただけますようお願いいたします。



アルミ缶回収、御協力のお礼

地域の皆様からアルミ缶を御提供いただき、先日、今年度最後の回収を行いました。今回は、110kgで、4,235円の収益となりました。年間では、21,561円となり、児童会活動に使わせていただいています。皆様の温かい善意に、心から感謝しています。

今後も回収を続けていきますので、家庭で不要になったアルミ缶は、御面倒でも当校駐車場脇の青い回収ボックスにお入れいただけますようお願いいたします。

